
(短編) とある商人の決意

大原雪船

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

（短編）とある商人の決意

【Nコード】

N4218U

【作者名】

大原雪船

【あらすじ】

2chでスレ立てるなら、

”シスコンのピクネスマン 兄が妹（勇者）のために頑張るようです。”

こんなイメージです。

近場のカジノやすごろく場に良い装備があるなら徴収して渡してやれよと、

突っ込んでしまいたくなった事が切欠で、ついやっちゃいました。
反省はしてませんw

(前書き)

DQ3をプレイして感じた事を適当にアレンジしてみました。

続きませんw

昔から妹とは比較されてきた。

妹は頭がよく、様々な才能に恵まれていた。

周りの人は妹を勇者だった父に似ていると賞賛した。

祖母も祖父も、そして俺を生んだ母さえも。

自分の無力を嘆き、妹に嫉妬しなかったと言えは嘘になる。

かといって、妹を邪険にしたりという気は起こらなかった。

魔王を倒す旅に出た日、父が俺に言った

「妹を守ってやれ」

という言葉が頭から離れなかったのである。

そして、父は帰ってこなかった。

年月が過ぎ、

国は妹に復活した魔王討伐を命令してきやがった。

ふざけるな。

世界の国々が恐れた魔王をしょぼい装備とはした金で外に放り込んで妹に倒せと言っのか。

母達や周囲の人もそれが使命だと喜んでやがる。

皆、妹が成し遂げるのが当然の義務と考えてやがる。

その為だけに色々施したってか。

技術も、知識も、情さえも。

俺の職業である商人の観点から見ると合格だよ。

優良な物件に麦粒程度の投資で、大きな利益を生み出そうとしているのだからな。

だがな、俺の妹にはそれしか価値がないってのか。

人間ってのはそうじゃないだろ。

人の繋がりだつて、そこまで徹底して合理的なもんじゃないぞ？

所詮「勇者の子は勇者」って事でしかアイツを見てなかったということか。

妹はお前達の道具じゃねえんだよ。

上等だ。

安心しろ妹よ。

俺には直接お前を助ける力はねえ。

ましてや守る力もねえ。

だがな。

お前は俺が命に代えても間接的に助力してやる。

しょぼい装備しかないというなら、

大陸駆けずり回って良い装備を揃えてやる。

弱い仲間しかいないっていうなら、

酔狂な凄腕の傭兵を探し出してやる。

モンスターが多すぎて魔王の下まで辿り着けないというなら、

私兵団作って可能な限り、雑魚を一掃してやる。

勇者には勇者の、

商人には商人の、

妹には妹の、

そして、

兄には兄の戦い方があって事だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4218u/>

（短編）とある商人の決意

2011年10月8日11時12分発行